

全国

ぜんこく  
しぎかいじゅんぽう

平成19年 11月5日  
(2007年) 毎月3回5の日に発行

第1668・69号  
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
旬報 TEL 03 (3262) 2309  
発行人 大竹 邦実  
http://www.si-gichokai.gr.jp

# 市議会議報

## 国会対策委員会が始動

### 委員長に鏑木川崎市議長

本会

山 川崎 大和 行方 高崎  
船橋 京都 福知山 御坊  
鹿兒島 の各市の議長 13  
人が就任した。

会議では、6月19日に開催

全国市議会議長会(会長 藤田博之・広島市議会議長)は10月22日、東京・全国都市会館



鏑木茂哉・国会対策委員長(川崎市議長)

で国会対策委員会を開催。委員長に鏑木茂哉・川崎市議会議長、副委員長に奥谷進・青森市議会議長と一色伸二・西条市議会議長を選任し、19年度の委員会を始動させた。同委員会の所管事項は、総会、評議員会、理事会のほか、地方行政委員会などの委員会でそれぞれ決定された要望事項の実現促進を図ること。このため委員には、各地方部会の推薦を受け定期総会で選任される9人の委員に加え、政府・与党の要職者との間のある議長に対し、会長が委嘱している。

だ。このため従来なら、委員委嘱を経て8月に1回目の委員会が開催されるのだが、今年度は10月22日に開催することとなった。なお、会長指名による委員の委嘱は9月27日に行われ、江別 青森 大野 武蔵村

された第83回本会定期総会以降の事務報告、平成20年度都市税制改正に関する要望の説明などが行われた。また要望項目の取り扱いや、今後の会議日程などについて協議し、了承した。当日は、総務省の佐藤文俊

## 市区議50人に感謝状

### 地方議員35年で

総務省は10月17日、東京・ルポール麹町で「平成19年度市区町村議会議員総務大臣感謝状贈呈式」を行った。

谷口副大臣(右)から感謝状を受領する高橋佑弘議長(左、伊予市)

市区議会議員50人、町村議会議員23人の計73人に感謝状が贈られ、市区議会議員を代表し、愛媛県伊予市の高橋佑弘議長が受領した。

この感謝状は、地方議会議員として通算35年以上在職し、地方自

治の発展に功労があった者に総務大臣から贈られる。贈呈式では、増田寛也・総務大臣の代理として谷口隆義・総務副大臣から式辞が述べられるとともに、受賞者へ感謝状と記念品が贈られた。続いて、来賓の渡辺博道・衆議院総務委員長、高嶋良充・参議院総務委員長らが祝辞を述べたほか、河野洋平・衆議院議長、江田五月・参議院議長らからの祝電が披露された。

当日は本会から、会長の藤田博之・広島市議会議長が来賓として出席した。(市区議会議員の受賞者氏名は3面に掲載)

|            |      |
|------------|------|
| 11月5日現在の市数 |      |
| 805市       |      |
| うち         |      |
| 指定都市       | 17市  |
| 中核市        | 35市  |
| 特例市        | 44市  |
| 一般市        | 686市 |
| 特別区        | 23区  |



国会対策委員会のもよう

# 議員共済会が理事会

## 20年度予算大綱を了承

市議会議員共済会(会長 藤田博之・広島市議会議長)



あいさつする藤田会長

は10月17日、東京・全国都市会館で理事会を開き、平成19年度上半期経理状況を報告するとともに、20年度予算大綱について協議し了承した。

藤田会長は、冒頭あいさつで「4月から改正法が施行され財政収支の改善が見込まれるが、議員年金制度の状況は極めて厳しいことにより変わりはなく」との認識を示すとともに、「共済会の財政の動向をよく見極めながら適切に対処していきたい」と述べた。

# 議員の位置付け協議

## 分権改革・道州制特別委

本会の地方分権改革・道州制調査特別委員会(委員長 川口浩・福岡市議会議長)は10月26日、東京・全国都市会館で第3回委員会を開催した。会議では事務局から、本会など地方六団体が9月18日に「地方支分部局の整理に関する基本的な考え方」をまとめ、政府の分権改革推進委員会へ提出したことが報告された。

この考え方は、「国の出先機関の大胆な見直し」に対する意見を同委員会から求められていたため提出したもの。国と地方の役割分担の明確化などを訴えている。同委員会では六団体の主張等を踏まえながら、11月中旬に「中間的とりまとめ」を作成し、福田首相に提出する見通し。このほか「地方議会議員の

会議では、今年4月から9月までの会員等の異動状況について報告。会員数は昨年度末よりも1858人減少し2万2312人、年金受給権者数は2242人増加し6万3643人となった。

# 要望案を了承

## 基地協が役員会

全国市議会議長会基地協議会会長 原島貞夫・福生市議会議長)は10月18日、福生市で正副会長・監事・相談役会を開催し、平成20年度基地対策関係予算の所要額確保に關

する要望案について協議し了承した。要望は、基地所在に伴う特殊な財政需要の増大により、関係市町村は大変厳しい状況にあることから、20年度の基地対策関係予算の満額確保や在日米軍再編に伴い負担増となる市町村に対する十分な支援措置などを求めたもの。11月13日の理事会で正式に決定し、関係方面に要望運動を行う。

# 要望まとめる

## 病院協が役員会

全国自治体病院経営都市議会議長会)は10月22日、盛岡市で正副会長・監事・相談役会を開催し、自治体病院関連

施策に関する要望をまとめた。要望には、自治体病院が地域住民のニーズにこたえ、社会的使命を達成できるよう、医師確保対策の充実、地域医療の確保に向けた経営効率化についてのガイドライン策定、地方財政措置の充実など7項目を盛り込んだ。近く厚生労働省など関係方面に実行運動を行う予定。



岡田病院協会長(長野市議会議長)が挨拶

会議では、会長市である長野市の議長交代に伴い新会長となった岡田荘史・長野市議長、開催市である盛岡市の工藤由春議長、谷藤裕明市長があいさつした。その後、要望や今後の会議日程等について協議し、了承した。

地域医療政策セミナー開催  
10月31日、同協議会は東京・日本都市センター会館で「第3回地域医療政策セミナー」を開催した。

セミナーでは厚生労働省の二川一男・医政局総務課長や、東北大学大学院の伊藤恒敏・医学系研究科教授から、深刻な状況にある医師不足や偏在、地域医療の確保対策などについて講演が行われ、加盟市議長や自治体病院関係者ら約300人が参加した。



原島貞夫市長(福生市議会議長)

法的な位置付けに関する基本的考え方」について協議し、①地方議会議員の職責と職務を法律上に明文化する②職務遂行対価の名称を「報酬」から「歳費(仮称)」に改めることを柱とした「基本的考え方」を整理し、了承した。

今後、基本的考え方に沿って会長提出決議案をまとめ、11月9日開催の本会評議員会に諮らうと、都道府県・町村議会議長会と連携しつつ、第29次地方制度調査会等へ提出することとした。

# 行事予定

- 11月8日 全国市議会議長会 相談役会議(午後2時半、全国都市会館)
- 11月9日 全国市議会議長会 理事会(午前11時、全国都市会館)・評議員会(午後1時半、日本都市センター)

- 11月12日 社会文教委員会 正副委員長会議(午後3時、阿南市)
- 11月13日 全国市議会議長会 基地協議会 理事会(午前11時、日本都市センター会館)

# 分権時代の都市とひと 地域力・市民力」テーマに

## 静岡市で全国都市問題会議

第69回全国都市問題会議（主催）全国市長会、東京市政調査会、日本都市センター等）が10月11・12の両日、静岡市民文化会館で開催された。今回は「分権時代の都市とひと 地域力・市民力」をテーマに、市長や学識経験者らによる講演、パネルディスカッションなどが行われた。会議には全国から市長や市議会議員ら2千人を超える自治体関係者が参加した。

1日目は、全国市長会会長 堀尾正明・NHKアナウンサーが近所づきあいの大切さ、釘宮馨・大分市長が市民参加のまちづくり、小和田哲男・静岡大教育学部教授が徳川家康のまちづくりとひとづくりについて、それぞれ講演した。

2日目は、名和是彦・法政大学法学部教授をコーディネーターに、パネルディスカッションが行われた。



ディスカッションのよう

午後からの一般報告では、堀尾正明・NHKアナウンサーが近所づきあいの大切さ、釘宮馨・大分市長が市民参加のまちづくり、小和田哲男・静岡大教育学部教授が徳川家康のまちづくりとひとづくりについて、それぞれ講演した。

2日目は、名和是彦・法政大学法学部教授をコーディネーターに、パネルディスカッションが行われた。

パネリストは 木原勝彬・ローカル・ガバナンス研究所所長 工藤泰志・認定特定非営利活動法人言語NPO

代表 横石知二・株式会社い

るどり代表取締役副社長 後藤和子・埼玉大学大学院経済科学研究科教授 菊谷秀吉・北海道伊達市長 渡辺幸子・東京都多摩市長の6人。それぞれの立場や視点から会議テーマに基づき活発な意見が交わされた。

2日間にわたる会議は、分権時代に相応しい、地域力・市民力の高い地域社会の創出やその担い手となる人づくりの重要性について議論を深め、全日程を終了した。

## 要望案を了承

### 広域協が役員会

広域行政圏市議会協議会（会長＝石橋力・久留米市議



石橋力・広域協会長（久留米市議長）

会議長）は10月23日、久留米市で正副会長・監事・相談役会議を開催し、広域行政圏の拡充強化に関する要望案を協議、了承した。

要望は、本年8月に加盟市に対し実施したアンケートの結果を踏まえ作成したもので、それぞれの都市が個性豊かで活力に満ちた分権社会を実現するため、平成の大合併を

踏まえた広域行政圏の具体的な指針の早期明示、都市間の独自性ある広域連携に対する新たな財政支援措置などを求めている。11月2日の理事会で正式に決定し、関係方面に要望運動を行う。

当日は総務省自治行政局の加藤主税・市町村課理事官が「市町村合併と広域行政圏をめぐる動向」について説明した。

## 平成19年度 総務大臣感謝状受賞者

- 感謝状受賞者の所属市区議会と氏名は次のとおり。（総務省発表名簿順、敬称略）
- 一 関市 石山 健 仙
- 台中市 大内久雄、加藤榮一 東松島市 瀧 健一
- 大館市 後藤武之丞
- 北秋田市 吉岡 興 古
- 河市 齊藤一恵 神栖市
- 高橋克己、安藤清一、吉田幸治 鴻巣市 柳健一郎、鳥寄朝則 上尾市
- 鎌山節子、松木清作
- 草加市 新井貞夫 吉川
- 市 野口 博 ふじみ野
- 市 山川壽美江 我孫子
- 市 吉松千草、秋谷 明
- 調布市 任海千衛 あきる
- 野市 影山 保 杉並区 今井 讓、山崎一彦 海老名市
- 志村憲一 座間市 中澤邦雄 上越市 本城文夫 佐渡市 加賀博昭 輪島市 川上
- 清松 松本市 小原 仁
- 茅野市 牛山晴一 郡上市
- 金子智孝 碧南市 杉浦和彦 弥富市 三宮十五郎
- 野洲市 秦 眞治 東近江市 豆田昇一郎 京田辺市 小林正路 撰津市 木村勝彦 神戸市 長谷川忠義、濱本律子 福山市 三谷 積、藤原泰助 庄原市
- 松浦 昇 山口市 山本俊昭 美馬市 武田保幸
- 伊予市 高橋佑弘 田川市
- 田丸雅美、末光廣美 嘉麻市 清水 恵 豊後高田市
- 岩本 武 鹿児島市 平山 孝

## 議 会 人 事

- 議長 松坂喜史 9・4
- 釜石 石井俊夫 9・4
- 袖ヶ浦 渡辺俊雄 9・4
- 八代 多田 勲 9・5
- 小矢部 城之内景子 9・5
- 取手 日暮栄治 9・10
- 柏 西川健三 9・10
- 大竹 今竹大祐 9・11
- 高砂 仁科英太郎 9・13
- 佐久 福森 登 9・18
- 秦野 安達幾夫 9・18
- 益田 山本義一 9・20
- 八街 吉田準一 9・21
- 八潮 瀨川治男 9・21
- 本巢 小堺清司 9・25
- 十日町 川崎勇一 9・4
- 釜石 村上光則 9・4
- 八代 中村重樹 9・5
- 小矢部 三浦 哲 9・5
- 取手 坂下 修 9・5
- 島田 田中 晋 9・10
- 柏 田中実穂 9・10
- 大竹 橋本芳和 9・11
- 高砂 大野祐司 9・18
- 秦野 平谷 昭 9・18
- 益田 嶋田 茂 9・19
- 氷見 嶋田 茂 9・19
- 八街 鯨井眞佐子 9・20
- 八潮 小倉順子 9・21
- 本巢 浅野英彦 9・21
- 十日町 庭野政義 9・25

# 全国市議会議長会 研究フォーラムin熊本

～議会の機能強化を目指して～

本会は、第2回「全国市議会議長会研究フォーラム」を10月15日と16日の両日にわたり熊本市で開催した。全国の各市議会から正副議長、議員ら約1700人の参加者が集うなか、1日目は竹中平蔵・慶應義塾大学教授が「地方行政の課題」と題した基調講演を行った。このほか、学識経験者4人によるパネルディスカッションも実施した。2日目の課題討議では、予算決算審査と委員会運営のあり方をテーマに4市議会が事例を報告、熱い議論が交わされた。

同研究フォーラムは、地方分権改革の進展や市町村合併により、都市に対する基礎的自治体としての役割が一層期待されるなか、市民の付託と信頼に的確に応えるべき議会の更なる機能向上策を研究するため、開催されたもの。第1回フォーラムは昨年8月に東京で開催している。



開会あいさつする藤田会長(右写真) 基調講演中の竹中慶大教授(左写真)



1日目の冒頭、主催者の藤田博之・本会会長(広島市議会議長)があいさつしたのち、開催地の牛嶋弘・熊本市議会議長、来賓の幸山政史・熊本市長からそれぞれ歓迎のあいさつが述べられた。

続いて第1部に入り、竹中慶大教授が基調講演を行った。竹中教授は、平成13年の小泉内閣発足とともに経済財政政策担当相に就任したほか、郵政民営化担当相、総務相、金融担当相などを歴任した経歴の持ち主。講演で



牛嶋熊本市議長(左)と次期開催の二瓶釧路市議長

## 予算決算審査 委員会運営

2日目は、コーデイネターに横道清孝・政策研究大学院大学教授を招き、課題討議を実施した。

## あり方討議

市議会副議長、佐伯光一・富山市議会議長が事例報告。安



課題討議の模様 10月16日

は、小泉元首相が郵政民営化を遂行する決断を下した際のエピソードを紹介しつつ、改革の遂行にはリーダーの「パッション(情熱)」が大事であると参加者にアドバイスした。講演要旨は近日に本紙掲載の予定。

また1日目の最後には、明年度のフォーラムの開催都市が釧路市であることを紹介。次期開催地を代表して、二瓶雄吉・釧路市議会議長があいさつし、歓迎の意を表した。

藤副議長は、決算審査に議会独自の事務事業評価制度を導入し、市民に公表している事例を報告した。佐伯議長は、予算審査の方法を「常任委員会への分割付託」「予算特別委員会の設置」のいずれによるべきか、議会が模索している現状を報告した。

続いて阿部善一・函館市議会議長、石橋力・久留米市議会議長が「テーマ②」に基づく事例を報告。阿部議長は、議会改革を進めた結果、能動的に調査する委員会に変貌を遂げた事例を報告した。また石橋議長は、常任・調査特別各委員会実践している具体的事例について報告した。